令和５年度特定建築物維持管理調査票

（令和４年４月１日～令和５年３月３１日の状況）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特定建築物の名称 |  | 維持管理権原者  氏名・住所　※1 | 氏名　　　　　　　　　　　　　　□所有者と同じ |
| 所在場所 |  | 住所 |
| 建物所有者  氏名・住所※1 | 氏名 | 氏名 |
| 住所 | 住所 |
| 氏名 | 回答担当者  連絡先 | 法人名及び所属部署 |
| 住所 |  |
| 氏名 | 所属所在地　〒 |
| 住所 |  |
| 全部の管理について権限を有する者氏名・住所 ※1,※２ | 氏名　　　　　　　　　　　　　　□該当者無し | 名前　　　　　　　　　℡ |
| 住所 | Mail |

現状の建物の所有者、全部の管理について権限を有する者、維持管理権原者をご記入ください。また、これらの事項に変更があった場合、法令に基づき届出が義務付けられていますので、変更届を提出されていない場合は、速やかに保健所へ届出てください。

※1法人にあっては、その名称、主たる事務所の所在地及び法人代表者の氏名を記入してください。

※２全部の管理について権原を有する者がいる場合、維持管理権原者も全部の管理について権原を有する者が該当します。

**１　帳簿書類等**該当するものに○をしてください。空欄には数値等を記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | 所有者、施設等の届出内容に変更があった場合、届出したか。 | 適・不適 |
| ２ | 建築物環境衛生管理技術者を選任していたか。　**管理技術者名（　　　　　　　　　　　　）** | 適・不適 |
| ３ | 帳簿は5年間保存しているか。  （空気環境の調整、給排水の管理、清掃、ねずみ、害虫等の防除状況） | 適・不適 |
| ４ | 施設図面一式（平面図、断面図、維持管理設備の配置図、系統図）を備え付けているか。 | 適・不適 |
| ５ | 施設の管理について、年間計画を作成し、計画通りに実施したか（実施漏れはないか。）。 | 適・不適 |

**２　空気環境の調整**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ６ | ２カ月以内に１回、適切な方法で空気環境測定を実施したか。 | 実施・未実施 |
| ◇実施していた場合　測定者（**１.自主 ２.委託** （委託先：　　　　　 　　　　　　　）） | |
| ７ | 各階ごとに測定を行い、浮遊粉じん、CO、CO2については、１日あたり2回以上測定したか。 | 適・不適 |
| ８ | ホルムアルデヒド量の測定を実施したか。※１ | 実施・未実施  非該当 |
| ９ | 空気調和設備内に設けられた排水受の点検（開始時及び１月以内に１回(検知センサー含む。)）、清掃は適切に実施したか。※２ | 実施・未実施  非該当 |

＜空気環境測定の実績＞

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 測定項目 | 測定回数 | 不適合回数 | | 不適最大(小)値(測定日) | 不適となった原因及び改善措置 |
| 浮遊粉じん量 |  |  | | (　　．　．　) |  |
| 一酸化炭素 |  |  | | (　　．　．　) |  |
| 二酸化炭素 |  |  | | (　　．　．　) |  |
| 温度 |  | 28℃  超過 |  | (　　．　．　) |  |
| 17℃  未満 |  | (　　．　．　) |  |
| 相対湿度 |  | 70%  超過 |  | (　　．　．　) |  |
| 40%  未満 |  | (　　．　．　) |  |
| 気流 |  |  | | (　　．　．　) |  |
| ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ※１ |  |  | | (　　．　．　) |  |

※１令和２年度から令和４年度の間で新築、大規模の修繕等を行った場合のみ

※２空気調和設備とは、空気を浄化し、その温度、湿度及び流量を調節して供給することができる設備をいいます。

＜冷却塔＞（設備を有する場合のみ記入）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １０ | 冷却塔へ供給する水は水道法第４条に規定する水質基準に適合したものを使用していたか。  （井戸水、受水槽等を使用している場合、水質検査をしているか。） | 適・不適 |
| １１ | 冷却塔及び冷却水の汚れの点検を使用開始時と使用期間中は毎月実施したか。 | 実施・未実施 |
| １２ | 冷却塔及び冷却水の水管の清掃を実施したか。（年1回以上） | 実施・未実施 |
| １３ | 冷却水のレジオネラ属菌の検査を実施したか。（年１回以上） | 実施・未実施 |

＜加湿装置＞（設備を有する場合のみ記入）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １４ | 加湿装置へ供給する水は水道法第４条に規定する水質基準に適合したものを使用していたか。  （井戸水、受水槽等を使用している場合、水質検査をしているか。） | 適・不適 |
| １５ | 加湿装置の汚れの点検を使用開始時と使用期間中は毎月実施したか。 | 実施・未実施 |
| １６ | 加湿装置の清掃を実施したか。（年１回以上） | 実施・未実施 |

**３　飲料水の管理**

|  |  |
| --- | --- |
| １７ | 飲料水の水源：１水道水　２地下水　３併用　４その他　（　　　　　　　　　　　　） |
| １８ | 給水方式　　：受水槽方式（１高置水槽　２圧力水槽　３ポンプ直送 ）水道直結方式（ ４増圧直結　５直圧直結 ）６その他（　　　　） |
| １９ | 給湯設備　　：1中央式（貯湯槽（あり　なし））　2局所式　　3.なし |
| ２０ | 防錆剤　　　：１添加あり（商品名：　　　　　　　　　）　２添加なし |

＜給水設備の検査等＞（水道直結の場合は記入不要です。）（給湯は除く）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ２１ | 水質検査は系統別に適切な項目と頻度を実施したか。（6ヶ月以内に1回16項目（又は11項目）、１年以内に1回消毒副生成物、地下水を利用している場合は3年に1回地下水浸透7項目） | | | 実施・未実施 |
| ２２ | 水質検査結果は全て基準に適合したか。 | | | 適・不適 |
| ◇適合していない場合　項目：　　　　　　　　　　　措置： | | | |
| ２３ | R４.4～R５.3までの検査実施年月・検査機関名:**（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**  **年　　月　　日**　　（　**１６　　１１**　）項目　項目数に○をしてください。  **年　　月　　日**　　（　**１６　　１１**　）項目　項目数に○をしてください。  **年　　月　　日**　　総トリハロメタン等消毒副生成物関係12項目  **年　　月　　日**　　地下水浸透７項目（地下水を使用している場合）  ※検査年月日等については、検査結果日付を記入してください。  ※地下水検査項目についてはR2.4～R５.3での最新の検査結果を記入してください。 | | | |
| ２４ | 残留塩素の測定は適切に実施したか。(7日以内に1回(ただし専用水道では毎日)) | | 実施・未実施 | |
| ２５ | 残留塩素の含有率は適切であったか。（0.1ｍｇ/ℓ以上） | | 適・不適 | |
| ２６ | 貯水槽は全て、清掃を適切（1年以内に1回）に、実施したか。 | | 実施・未実施 | |
| ◇最新の清掃実施年月日：　　　　年　　月　　日 　　 自主・委託（　　　　　　　　　　　　） | | | |
| ２７ | 簡易専用水道の法定検査（年１回、書類検査）を受けたか。 | 実施日（　　　年　月　日）　・　未実施 | | |

＜中央給湯設備の検査等＞（設備を有する場合のみ記入）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ２８ | 貯湯槽：１あり　２なし　　　給湯設備の設定温度：　　　　　℃　　　　末端給水栓温度：　　　　　℃ | |
| ２９ | 貯湯槽がある場合、清掃は適切（1年1内に1回）に実施したか。 | 実施・未実施 |
| ◇最新の清掃実施年月日：　　　　年　　月　　日 　　 自主・委託（　　　　　　　　　　　　） | |
| ３０ | 残留塩素の測定は適切に実施したか。（7日以内に1回）  （末端給水栓が55℃以上の場合は不要） | 実施・未実施  非該当 |
| ３１ | 残留塩素の含有率は適切であったか。（0.1ｍｇ/ℓ以上） | 適・不適 |
| ３２ | 水質検査は系統別に適切な項目と頻度を実施したか。（6ヶ月以内に1回16項目（又は11項目）、１年以内に1回消毒副生成物、地下水を利用している場合は、3年に1回地下水浸透7項目） | 実施・未実施 |
| ３３ | 水質検査結果は全て基準に適合したか。 | 適・不適 |
| ◇適合していない場合　項目：　　　　　　　　　　　措置： | |
| ３４ | R4.4～R5.3までの検査実施年月・検査機関名:**（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**  **年　　月　　日**　　（　**１６　　１１**　）項目　項目数に○をしてください。  **年　　月　　日**　　（　**１６　　１１**　）項目　項目数に○をしてください。  **年　　月　　日**　　総トリハロメタン等消毒副生成物関係12項目  **年　　月　　日**　　地下水浸透７項目（地下水を使用している場合）  ※検査年月日等については、検査結果日付を記入してください。  ※地下水検査項目についてはR4年4月以前であっても最新の検査結果を記入してください。 | |

**4　雑用水の管理**（設備を有する場合のみ（水源が水道水の場合を除く））

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ３５ | 雑用水の水源：１井戸　２再利用水　３雨水ろ過水　４その他（　　　　　） | | |
| ３６ | 雑用水槽　　：１あり　２なし | | |
| ３７ | 主な用途　　：１散水、修景用水　２清掃用水　３水洗便所用水　４その他（　　　　　　　　　　） | | |
| ３８ | 残留塩素の測定は適切に実施したか。（7日以内に1回） | 適・不適 |
| ３９ | 残留塩素の含有率は適切であったか。（0.1ｍｇ/ℓ以上） | 適・不適 |
| ４０ | 雑用水の水槽の点検など、有害物、汚水等によって水が汚染されるのを防止するため必要な措置を行ったか。 | 実施・未実施 |
| ４１ | 水質検査は系統別に実施したか。 | 実施・未実施 |

＜雑用水の水質検査＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 測定項目 | 実施頻度 | 検査機関（　　　　）内は委託先 | 異常・不適の有無　（）内は不適時の改善措置 |
| ｐH値 | 回/週 | １自主　２委託（　　　　　　　　） | １適　２不適（　　　　　　　　　　　　　） |
| 臭気 | 回/週 | １自主　２委託（　　　　　　　　） | １適　２不適（　　　　　　　　　　　　　） |
| 外観 | 回/週 | １自主　２委託（　　　　　　　　） | １適　２不適（　　　　　　　　　　　　　） |
| 大腸菌 | 回/年 | １自主　２委託（　　　　　　　　） | １適　２不適（　　　　　　　　　　　　　） |
| 濁度 | 回/年 | １自主　２委託（　　　　　　　　） | １適　２不適（　　　　　　　　　　　　　） |

**５　排水設備の管理**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ４２ | 排水に関する設備の清掃は次の方法により適切（6月以内に１回）に実施したか。  １ 排水槽内の汚水及び残留物質を排除すること。  ２ 流入管、排水ポンプ等について、付着した物質を除去すること。  ３ 排水管、通気管及び阻集器について、内部の異物を除去し、必要に応じ、消毒等を行うこと。  ４ 清掃によって生じた汚泥等の廃棄物は、関係法令の規定に基づき、適切に処理すること。 | 実施・未実施 |
| ◇最新の清掃実施年月日：　　　　年　　月　　日 　　 自主・委託（　　　　　　　　　　　　） | |
| ４３ | 排水に関する設備の点検は次の方法により定期に実施し、必要に応じて補修したか。  １ トラップについて、封水深が適切に保たれていることを定期に確認すること。  ２ 排水管及び通気管について、損傷、さび、腐食、詰まり及び漏れの有無を定期に点検し、必要に応じ、補修等を行うこと。  ３ 排水槽及び阻集器について、浮遊物質及び沈殿物質の状況、壁面等の損傷又はき裂、さびの発生の状況及び漏水の有無を定期に点検し、必要に応じ、補修等を行うこと。  ４ フロートスイッチ又は電極式制御装置、満減水警報装置、フート弁及び排水ポンプの機能等を定期に点検し、必要に応じ、補修等を行うこと。 | 実施・未実施 |

**６　清掃等・ねずみ等の防除**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ４４ | 建築物の清掃は適切に実施されているか。また、大掃除は６月以内に１回定期に行ったか。 | 実施・未実施 |
| ◇最新の清掃実施年月日：　　　　年　　月　　日 　　 自主・委託（　　　　　　　　　　　　） | |
| ４５ | ６月以内に１回、ねずみ等の発生場所、生息場所及び進入経路、被害状況についての調査を実施したか。 | 実施・未実施 | |
| ４６ | 上記について、厨房等の発生の多い場所については２ヶ月に１回調査を実施したか。 | 実施・未実施・非該当 | |
| ４７ | 調査の結果を受け、適切な対応を実施したか。 | 実施・未実施 | |

**７　新型コロナウイルス感染症による維持管理への影響について**

|  |  |
| --- | --- |
| ４８ | 新型コロナウイルス感染症により維持管理に影響を受けた場合がありましたら、その内容及び対応について記入してください。 |
| （例）新型コロナウイルス感染症対策により立ち入りできる区間が制限されていたため、立ち入りできるエリアのみ空気環境測定を行った。 |

以上です。ご協力ありがとうございました。